

自分らしさを意欲的に 表現する子供を育てる国語科指導の工夫

—— メモを効果的に活用した振り返る活動を取り入れて ——

長期研修員 山同 秀光
長期研修員 小林 淳一

(小学校) …… 題材『わらぐつの中の神様』(第5学年)

【 見たいページをクリックして下さい。】

	ページ
指導計画 -----	2・3
本時案(全6時間) -----	4～12
学習プリント類	
言葉プリント -----	13
学習プリント -----	14
学習プリント -----	15
スピーチ名人カード -----	16
なりきりスピーチ のメモ用紙(2種類) -----	17・18
ふりかえりカード -----	19
ふりかえりカード -----	20

(中学校) …… 題材『魚を育てる森』(第1学年)

	ページ
指導計画 -----	21・22
本時案(全5時間) -----	23～28
学習プリント類	
難語句プリント -----	29
モデルスピーチ ・ のメモ -----	30
分かりやすいスピーチの秘密探しシート -----	31
スピーチメモ作成用紙 -----	32
スピーチ上達シート -----	33

「題材の考察」は、研究報告書 6 ページ(小学校)・
13 ページ(中学校)を参照してください。

《資料編》

【「わらくつの中の神様」の目標及び評価規準】

目標	「わらくつの中の神様」から読み取ったことを基に、メモの書き方や生かし方を工夫するとともに、適切な言葉遣いに注意しながら聞き手に分かりやすいスピーチをする。		
評価規準	(国語に対する関心・意欲・態度)	(話すこと・聞くこと)	(国語に関する知識・理解・技能)
	自分の伝えたい事柄や気持ち聞き手に分かるよう、メモの書き方や生かし方を工夫してスピーチしている。	自分の話の意図や内容聞き手に分かるようにメモの書き方や生かし方を工夫して話したり、その効果を考えながら聞いたりしている。	聞き手の方を見ることや、適切な言葉遣いに注意して、話したり聞いたりしている。

【指導計画(全6時間)】

過程	主な学習活動	時間	学習への支援	評価規準		
				国語への関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	言語についての知識・理解・技能
	<p>話す力を高めていくことへの意欲をもつ。</p> <p>学習のめあてを知る。</p> <p>本文を読んで得た内容を基に、おみつさんが、雪げたを買ってもらおうと両親に話すスピーチを行う。</p>	1	<p>・話すことへの不安をやわらげ、少しずつ話す力を高めていけるよう、教師自ら例示スピーチを行う。</p> <p>・学習のめあてがもてるよう、スピーチの課題をいくつかを示す。</p> <p>・読めない漢字や意味の分からない言葉を確認できるように、範読をする。</p> <p>・分からない言葉の意味を理解できるように、「言葉プリント」を活用する。</p> <p>・スピーチに必要な物語の内容を短時間でとらえられるよう、学習プリントを用いる。</p> <p>・課題に合ったメモが作れるよう、課題に関する叙述の部分に着目する支援する。</p>	<p>自分の考えや意図が分かるように、話の中心を明確にして正しい言葉を用いて、おみつさんの両親になりきってメモを作成しようとしている。</p> <p>(十分満足とする状況・態度) ・効果的な話の組立てに着目している。</p> <p>(努力を要する状況)への方策 ・話し方、聞き方、話す目的を確認できるように、問いかけをする。</p>	<p>自分の考えや意図が分かるように、話の中心を明確にして正しい言葉を用いて、おみつさんの両親になりきってメモを作成している。</p> <p>(十分満足とするキーワード) ・効果的な話の組立てを考えながら ・メモに話の要点を短くまとめる</p> <p>(努力を要する状況)への方策 ・話の内容を見つけられるよう、学習プリントを見直すように声かけをする。 ・話の中心を一つ決めるように助言する。</p>	<p>自分の考えや意図が分かるように、構成を工夫して、おみつさんの両親になりきってメモを作成している。</p> <p>(十分満足とするキーワード) ・効果的な構成で</p> <p>(努力を要する状況)への方策 ・メモの構成の仕方に気付くよう、メモ作成時に初問指導を行い、声かけをする。</p>
見直し1	<p>おみつさんが、雪げたを買ってもらおうと両親に話すモデルスピーチ、を比べ、分かりやすさの原因を考える。</p> <p>モデルスピーチの分かりやすさの原因をメモの書き方から考える。分かりやすいスピーチをするための大切な観点を整理する。</p>	1	<p>・分かりやすいスピーチをするための観点到気付くことができるよう、二つの対照的なスピーチ(モデルスピーチ、)を視聴し、それを比べたり、メモを見比べたりする活動を行う。</p> <p>・分かりやすさの原因を明確にできるよう、「スピーチ名人カード」に整理する。</p>	<p>モデルスピーチやそのメモから気付いたことを、おみつさんの両親になりきって自分なりにワークシートにまとめている。</p> <p>(十分満足とする状況・態度) ・多様な観点からまとめている。</p> <p>(努力を要する状況)への方策 ・活動の意欲化を図れるよう、一つでも気付いたことを多くの児童に知らせる。</p>	<p>分かりやすいスピーチをするためのメモの書き方や生かし方をおみつさんの両親になりきって書き出している。</p> <p>(十分満足とするキーワード) ・メモの書き方と生かし方とを関連づけながら</p> <p>(努力を要する状況)への方策 ・モデルスピーチのほう分かりやすいことに気付けるよう、モデルスピーチとの違いに着眼するよう助言する。</p>	<p>声の大きさや速さ、間の取り方など、適切な言葉遣いにおみつさんの両親になりきって気付いている。</p> <p>(十分満足とするキーワード) ・具体的に記述したり、発表したりしている。</p> <p>(努力を要する状況)への方策 ・モデルスピーチの分かりやすい理由を考えられるよう、声の大きさなど具体的な観点を助言する。</p>

見 通 し 2	<p>おみつさんが、自分で作ったわらくつを買ってもらおうとお客さんに話すスピーチのメモを作成する。メモをもとにスピーチを聞き合う。</p>	<p>・主体的に学習に取り組めるよう、各自のメモづくりや練習スピーチを支援する。</p> <p>・話し手が自らのスピーチを評価することができるよう、聞き手はスピーチで効果があった観点を、話し手に伝えるよう助言する。</p> <p>・より分かりやすく話すためのメモの改善点を考えられるよう、聞き手からの評価を基に、自分のメモを見直すように声かけをする。</p>	<p>キーワードでメモを書き、聞き手を見ながらおみつさんになりきって話そうとしている。</p> <p>(十分満足とする状況・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の観点を取捨選択して取り入れている。 <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心理的な負担を軽減できるよう、3～4人のグループでスピーチする。 ・スピーチの評価を効果的に行えるよう、児童が聞き合う活動において、教師も積極的に認め励ます。 	<p>キーワードでメモを作成し、おみつさんになりきって聞き手を見ながら話している。</p> <p>(十分満足とするキーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の観点も積極的に取り入れて <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモに書くキーワードの手がかりとなるよう、友達の考えたキーワードを黒板に例示する。 ・メモ作りの効率化が図れるよう、「はじめ」と「終わり」をあらかじめ示してあるメモ用紙を活用する。 	<p>声の大きさや速さ、間の取り方など、適切な言葉遣いを考えておみつさんになりきって話したり、マサエになりきって聞いたりしている。</p> <p>(十分満足とするキーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な間の取り方など適切な言葉遣いを考えて <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な言葉遣いの手がかりとなるよう、友達の考えをいくつか例示として提示する。 ・自分の声の大きさや速さの適切さを直せるよう、録音機器などを活用するように助言する。
見 通 し 2	<p>雪げたが、きれいなまま棚の上にいるわけをマサエに話すスピーチのメモを作成する。</p> <p>メモを基にスピーチを聞き合う。</p>	<p>・結論の内容や位置を工夫することの効果に気付くことができるよう、例示する。</p> <p>・主体的に学習に取り組めるよう、メモづくりや練習スピーチを支援する。</p> <p>・分かりやすいスピーチの観点が身に付いたかどうかを確かめることができるよう、スピーチを聞き合い、評価し合う活動を支援する。</p>	<p>結論の内容や位置を工夫しながら、雪げたになりきって話そうとしている。</p> <p>(十分満足とする状況・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチで不十分だった観点や新たな観点を、たくさん取り入れている。 <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の課題が明確になるよう「スピーチ名人カード」を確認するように助言を行う。 ・スピーチの評価を効果的に行えるよう、児童が聞き合う活動において、教師も積極的に認め励ます。 	<p>前回のスピーチでの学習事項に加え、結論の内容や位置を工夫し、雪げたになりきってスピーチしている。</p> <p>(十分満足とするキーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモの生かし方の観点を効果的に取り入れて <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモの書き方や生かし方の観点を明確に意識できるよう、具体的に助言する。 ・メモに書くキーワードの手がかりとなるよう、友達の考えたキーワードを黒板に例示する。 	<p>声の大きさや速さ、間の取り方など、適切な言葉遣いを考えて雪げたになりきって話したり、マサエになりきって聞いたりしている。</p> <p>(十分満足とするキーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な間の取り方など適切な言葉遣いを考えて <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な言葉遣いの手がかりとなるよう、友達の考えをいくつか例示として提示する。 ・自分の声の大きさや速さの適切さを直せるよう、録音機器などを活用するように助言する。
見 通 し 3	<p>スピーチ～のメモと「スピーチ名人カード」を基に、自分や友達のスピーチの進歩を認め合う。</p> <p>大工さんが、およめさんになってほしいとおみつさんに話すスピーチを構想し、聞き合う。</p>	<p>・互いの表現力の高まりを自覚し、自己肯定感を持つことができるよう、スピーチ～のメモと「スピーチ名人カード」が一目で見られるよう、一枚の紙に貼る。</p> <p>・自分なりに一番よいと思えるスピーチができるよう、練習時間を確保したり、メモの書き方や生かし方を具体的に助言したりしていくことで支援を行う。</p>	<p>自分のスピーチをより分かりやすくするために大工さんになりきってメモの書き方や生かし方を工夫している。</p> <p>(十分満足とする状況・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモに修正を加えつつ、工夫の効果を何度も確かめながら、繰り返し練習をしている。 <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の意欲化が図れるよう、個々の児童の今までの取組の様子や表現力の向上を具体的に認め励ます。 	<p>今までに学習してきた「分かりやすいスピーチをするための観点」を取り入れ、大工さんになりきって分かりやすいスピーチをしている。</p> <p>(十分満足とするキーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的なメモの生かし方(声の大きさや速さ、間、身振りなど)をして ・目的や相手、場になつたメモの書き方で <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすいスピーチの観点に気付くよう、児童の取組の様子を見取り、個の状況に応じて聞き役となったり、助言を行ったりする。 ・自分のスピーチを客観的に見直せるよう、ビデオなどの機器も活用する。 	<p>声の大きさや速さや間など適切な言葉遣いに注意し、大工さんになりきって話したり、おみつさんになりきって聞いたりしている。</p> <p>(十分満足とするキーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の目的や相手、場になつた言葉遣いで ・聞き手に聞きやすい声の大きさや速さで ・効果的な間の取り方で <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な言葉遣いに注意して話せるよう、個の状況に応じて、「どこで、どのように間を取るのか」等、具体的に助言する。 ・自分の声の大きさや速さの適切さを直せるよう、録音機器などを活用するように助言する。

【本時案】

第1時(見通し1の準備となる授業。)

- (1) ねらい
「わらぐつの中の神様」を通読し、登場人物の気持ちや情景について大要をとらえる。
学習のねらいを知り、なりきりスピーチその のメモを作成する。
- (2) 準備
(教師) 学習プリント 児童用・掲示用、言葉プリント、メモ作成用紙(2種類)、付せん紙
学習目標 を書いた掲示物、スピーチその の課題を書いた掲示物、
「だれが」「だれに」「何を」の掲示物、教材本文を拡大した掲示物
(児童) 教科書、ノート、筆記用具

(3) 展開(1/6)

(於) 5年1組の教室

学習活動	分	学習への支援()及び留意点() 十分満足とする状況・態度の児童への支援()	評価項目(評価方法)
<p>話す力を高めていくことへの意欲をもつ。</p> <p>学習のめあてを知る。</p>	15	<p>話すことが最初から上手にできなくても、それを支えてくれる聞き手がいれば、少しずつ自信を持って話すことができることを児童が感じられるよう、教師が例示する。これから行う学習の見通しがもてるよう、「わらぐつの中の神様」の文章を使って、楽しく話す力をつけていくものであることを伝える。</p> <p>学習のめあてがもてるよう、なりきりスピーチの課題のいくつかを示す。 「今は『わらぐつの中の神様』という文章を読んで、もしみんながおみつさんだったら、自分の作ったわらぐつを買ってもらうために、お客さんにどんな風に話すだろう。もし、みんなが雪げただったら、マサエに何て話すだろう。これからやっていくのは、この『わらぐつの中の神様』という文章をもとに、登場人物や物になって『なりきりスピーチ』をしていく勉強です。」 意欲を高められるよう、学習目標を黒板に掲示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学習目標 「わらぐつの中の神様」でスピーチ名人になろう！</p> </div>	
<p>本文を読んで得た内容を基に、メモを作成し、スピーチを行う。</p>		<p>課題を提示する。(掲示物を黒板に掲示する)</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(なりきりスピーチその のメモ作り) 《お父さん、お母さん、雪けたを買ってよ!》のメモ おみつさんになって、雪けたを買ってもらおうと、両親に話すスピーチのためのメモ作りをしよう。</p> </div> <p>その際、「だれが」「だれに」「何を」話すスピーチかを板書で確認する。 活動の見通しが持てるよう、まず、スピーチその のためのメモを作ることを確認する。 課題に合ったメモが作れるよう、課題に関係する叙述の部分に着目しながら読む活動を支援する。 読めない漢字や意味のわからない言葉を確認できるよう、範読をする。 わからない言葉の意味を理解できるよう、「言葉プリント」を活用する。 スピーチに必要な本文の内容を確認できるよう、学習プリント を用いる。 おみつさんの雪けたへの思いを本文から具体的に読み取れるよう、P.10～P.13.L1を読むことを伝える。 内容を正しく理解できるよう、学級全体でスピーチその の課題の内容について、重点となるいくつかを確認を</p>	<p>【関・意・態】 《スピーチその のメモ》 テーマに関連する叙述に即してメモを作成しようとしている。 (活動の様子の観察及びメモ作成用紙の記述の分析)</p> <p>【話・聞】 《スピーチその のメモ》 メモを基に、テーマに沿ってスピーチしている。 (児童の活動の様子及び使用したメモ作成用紙記述の分析)</p>

<p>次時の予告を聞く。</p>	<p>30</p> <p>する。 その際、教材本文を掲示し、児童の発言で確認する。 話し方、聞き方、話す目的を確認できるよう、問いかけをする。</p> <p>【おみつさんの雪げたへの思い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ げた屋さんの前で目についた、雪げたのかわいらしさ ・ こづかいで買えるねだんでは、ない。 ・ いつもは、余計な物など、ほしいと思ったことはないのに、この雪げたばかりは、なんとしてもあきらめきれない。 ・ 「ねえ、わたしを買ってください。あんたが買ってくれたら、うれしいな。」と、雪げたがよびかけているように思えた。 <p>話の内容を見つげられるよう、学習プリントを見直すように声かけをする。 話の中心を一つ決めるように助言する。 メモの作成においては、自分のやりやすいやり方でメモ作りができるよう、用紙や付せん紙を用意しておく。 メモの構成の仕方に気付くよう、メモ作成時に机間指導を行い、声かけをする。 次の活動がよりよく進められるように、早く書けた人は、それを使ってスピーチの練習をしていることを指示しておく。</p> <p>次時の見通しが持てるよう、「スピーチその」を家の人にしてきた感想を聞くことを伝える。</p>	<p>【言】</p> <p>《スピーチそのメモ》 テーマに関連する叙述に即してメモを作成している。 (児童が使用したメモ作成用紙記述の分析)</p>
------------------	--	--

第2時(スピーチそのの振り返りと見直し1にかかわる授業。太線枠内が検証に関係する部分。授業のビデオ録画を基にした考察等の方法を使っても検証を行う。)

- (1) ねらい
 なりきりスピーチそのを振り返る。
 モデルスピーチを聞き比べたり、スピーチメモを見比べたりして、「スピーチをするためのメモの書き方や生かし方」を理解する。
- (2) 準備
 (教師) ふりかえりカード、モデルスピーチを録画してあるビデオテープ、TV、ビデオデッキ
 学習プリント、モデルスピーチ・のメモ、フラッシュカード、
 メモの書き方・生かし方をまとめた掲示物(「名人カード」の拡大紙)
 (児童) 教科書、ノート、筆記用具

(3) 展開(2/6) (於) 5年1組の教室

学習活動	分	学習への支援()及び留意点() 十分満足とする状況・態度の児童への支援()	評価項目(評価方法)						
なりきりスピーチを振り返る。	5	メモを用い、どのような思いでスピーチをしたかどうかを把握できるよう、ふりかえりカードを用いる。							
モデルスピーチ、を比べ、分かりやすさの原因を考える。		<p>分かりやすいスピーチをするための観念に気付くことができるよう、二つの対照的なスピーチ(モデルスピーチ、)を視聴し、それを比べたり、メモを見比べたりする活動を行う。 その際、二つのモデルスピーチの違いを視聴しながら確認できるよう、比べるめあてを入れた学習プリントを活用する。 二つのモデルスピーチの違いを明確にするために、次表のようにモデルスピーチを行う。</p> <table border="1" data-bbox="454 1904 1165 1993"> <tr> <td></td> <td>モデルスピーチ</td> <td>モデルスピーチ</td> </tr> <tr> <td>メ</td> <td>文章で書いたメモを作成して</td> <td>付せん紙に書いたキーワードで</td> </tr> </table>		モデルスピーチ	モデルスピーチ	メ	文章で書いたメモを作成して	付せん紙に書いたキーワードで	<p>【関・意・態】 分かりやすく聞きやすいスピーチの条件を、自分なりに学習プリントにまとめている。 (活動の様子を観察及び学習プリントの記述の分析)</p>
	モデルスピーチ	モデルスピーチ							
メ	文章で書いたメモを作成して	付せん紙に書いたキーワードで							

	モの書き方	いる。 終わりで結論を述べる構成（尾括式の構成）になっている。	メモを作成している。 はじめと終わりで一番言いたいことを述べる構成（双括式の構成）になっている。	【話・聞】 分かりやすいスピーチをするためのメモの書き方や生かし方を書き出している。 （学習プリントの記述の分析）	
	メモの生かし方	抑揚や間のない平板な話し方をしている。 メモから目を離さず読んでいる。 身振りはない。 やや小さめの声で話す。	抑揚や間を工夫した話し方をしている。 メモをもとに、聞き手をなるべく見ながら話している。 身振りを交えている。 聞き手が聞きやすい声の大きさや速さで話す。		
(1) ビデオを見比べる。	40	児童一人一人の考えを把握できるうよう、挙手で確認する。			【言】 話す「音量」や「速度」、「相手を見ながら」話すことなどに着目して、正しい言葉を用いている。 （学習プリントの記述の分析）
(2) 、どちらが分かりやすいか考える。		モデルスピーチの方が分かりやすいことに気付けるよう、モデルスピーチとの違いに着眼するように助言する。			
(3) 分かりやすかった理由を書く。		自分の意見が明確に書けるよう、学習プリントを活用する。 理由が明確に短時間で共通理解できるよう、フラッシュカードで確認する。 その際、机間指導時に児童がフラッシュカードに書くように指示する。 活動の意欲化を図れるよう、一つでも気付いたことを多くの児童に知らせる。			
(4) メモを見比べ分かりやすかった理由を書く。		メモの工夫に気付けるよう、なぜモデルスピーチの方が分かりやすかったのか、という視点で学習プリントに理由を書く。 気付いたことをたくさん書くように声かけをする。			
(5) 気付いたメモの書き方と生かし方を整理する。		分かりやすさの原因を明確にできるよう、「スピーチ名人カード」に整理する。 その際、「名人カード」の拡大紙を掲示する。 話す速度や音量、聞き手を見ながら話すことなどのうち、声の大きさなど具体的な観点に注意して学習プリントに書けるように声かけをする。			
次時の予告を聞く。	次時の見通しが持てるよう、「スピーチその」を「スピーチその」とは違うテーマで行うことを伝える。				

第3時（見通し2にかかわる授業。太線枠内が検証に関係する部分。

授業のビデオ録画を基にした考察等の方法を使っても検証を行う。）

- (1) ねらい
なりきりスピーチそのを行い、それを自他で振り返ることにより、自分のスピーチの向上を自覚し、より分かりやすいスピーチにしていく。
- (2) 準備
（教師）学習目標を書いた掲示物、スピーチ名人カード（裏：ふりかえりカード～）、付せん紙、スピーチ名人カード（掲示用）、モデルスピーチのメモ（掲示用）、スピーチそのの課題を書いた掲示物、「だれが」「だれに」「何を」の掲示物、メモ作成用紙、フラッシュカード、スピーチ台、お面（おみつさん）、ワッペン（「おみつさん」の文字と絵の2種類）、カセットテープレコーダー9台
（児童）教科書、ノート、筆記用具、色鉛筆

学習活動	分	学習への支援()及び留意点() 十分満足とする状況・態度の児童への支援()	評価項目(評価方法)
<p>メモを作成してなりきりスピーチそののを行い、グループで互いに聞き合い、振り返る。</p> <p>(1)スピーチそののメモを作る。</p>	15	<p>(なりきりスピーチそのの) 《お客さん、わらぐつを買ってよ!》 もう一度おみつさんになって、自分で作ったわらぐつのでよさを、お客さんに説明したスピーチを振り返ろう。</p> <p>主体的に学習に取り組めるよう、各自のメモづくりや練習を支援する。なりきりスピーチそののへのめあてが持てるよう、「キーワード」でメモを書き、「相手を見ながら」スピーチをすることをめあてとすることを確認する。その際、「スピーチ名人カード」を黒板に掲示する。おみつさんが自分で作ったわらぐつのでよさを本文から具体的に読み取れるよう、P.14～P.16.L1を読むことを伝える。テーマに合ったスピーチそのののメモ作りができるように、教材本文の叙述に着目し、内容を理解する時間を取るようにする。全員が内容を正しく理解できるよう、机間指導を行い、児童の考えのいくつかをフラッシュカードで全体に示す。よりよいメモを作成できるよう、メモの生かし方のいろいろな観点に着目するように声かけをする。 【おみつさんが自分で作ったわらぐつのでよさ】 ・少し格好は悪いが、はきやすい。 ・あったかい。 ・少しでも長もちするように。 ・心をこめて、しっかりわらを編んだ。</p>	<p>【関・意・態】 《スピーチそのの》 前時の学びを取り入れて、自分のスピーチがより分かりやすいものとなるよう「キーワード」「相手を見ながら」に注意し、次のスピーチへの改善点を探している。 (活動の様子の観察及びメモ作成用紙、ふりかえりカードの記述の分析)</p> <p>【話・聞】 《スピーチそのの》 スピーチ名人カードのめあてを基に、「キーワード」「相手を見ながら」に注意して話したり、聞いたりできたかを振り返り、次のスピーチへの改善点に気付いている。 (活動の様子の観察及びメモ作成用紙、ふりかえりカードそのの記述の分析)</p>
<p>(2)スピーチそのの練習を行う。</p>	10	<p>話すことへの抵抗を緩和し、時間の効率化を図れるよう、練習及び本番は、グループごとに行う。自分が納得のいくまで、何度も練習してよいことを伝える。心理的な負担を軽減できるよう、3～4人のグループでスピーチを行う。その際、互いのスピーチの変化が見取れるよう、グループの構成員は、スピーチそののと同じ構成員で行う。</p>	<p>【言】 《スピーチそのの》 スピーチ名人カードのめあてを基に、「相手を見ながら」話すことに着目して振り返っている。 (活動の様子の観察及びメモ作成用紙、ふりかえりカードそのの記述の分析)</p>
<p>(3)スピーチそのの本番を行い、互いのスピーチについての相互評価及び、自分のスピーチについての自己評価を行う。</p>	20	<p>話し手が自らのスピーチを評価することができるよう、聞き手はスピーチで効果があった観点を、話し手に伝えるよう助言する。スピーチ後、相互評価を効果的に行えるよう、付せん紙を活用する。効果的な自己評価になるよう、「スピーチ名人カード」を活用する。より分かりやすく話すためのメモの改善点を考えられるよう、聞き手からの評価を基に、自分のメモを見直すように声かけをする。机間指導の際に、「メモの書き方の工夫、話し方の工夫」の中から一つでも改善点が見つけられていたら、積極的に認め、励ます。前時のスピーチと比べて進歩してきた点をメモの書き方や話し方から、具体的に提示する。グループでのアドバイス後に、今回のめあて「キーワード」「相手を見ながら」を次のスピーチに生かせるよう、今回行ったスピーチの中身に関連づけて、具体的な助言をする。メモに書くキーワードや適切な言葉遣いの手がかりとなるよう、友達の考えのいくつかを黒板に例示する。メモ作りの効率化を図れるよう、「はじめ」と「終わり」をあらかじめ示してあるメモ用紙を活用する。</p>	<p>【言】 《スピーチそのの》 スピーチ名人カードのめあてを基に、「相手を見ながら」話すことに着目して振り返っている。 (活動の様子の観察及びメモ作成用紙、ふりかえりカードそのの記述の分析)</p>

	自分の声の大きさや速さの適切さを直せるよう、録音機器などを活用するように助言する。 よりよいスピーチとなるよう、いろいろな観点を取り入れているか問いかける。
--	---

第4時(見通し2にかかわる授業。太線枠内が検証に関係する部分。
授業のビデオ録画を基にした考察等の方法を使っても検証を行う。)

- (1) ねらい
なりきりスピーチその を行い、それを自他で振り返ることにより、自分のスピーチの向上を自覚し、より分かりやすいスピーチにしていく。
- (2) 準備
(教師) 学習目標 を書いた掲示物、スピーチ名人カード(裏:ふりかえりカード ~)、付せん紙、スピーチ名人カード(掲示用)、モデルスピーチ のメモ(掲示用)、
スピーチその の課題を書いた掲示物、「だれが」「だれに」「何を」の掲示物、メモ作成用紙、フラッシュカード、スピーチ台、お面・(雪げた)、ワッペン(「雪げた」の文字と絵の2種類)、カセットテープレコーダー9台
(児童)教科書、ノート、筆記用具、色鉛筆

(3) 展開(4/6) (於)第二音楽室

学習活動	分	学習への支援()及び留意点() 十分満足とする状況・態度の児童への支援()	評価項目(評価方法)
メモを作成してなりきりスピーチその を行い、グループで互いに聞き合い、振り返る。	15	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(なりきりスピーチその) 《マサエちゃん、わたしがここにいるのはね。》 雪げたになって、今、マサエの家のおし入れのたなの上 にいるわけを、マサエに話したスピーチを振り返ろう。</p> </div> <p>なりきりスピーチその へのめあてとして、結論の内容や位置を工夫することの効果に気付くことができるよう、例示する。その際、「スピーチ名人カード」を黒板に掲示する。主体的に学習に取り組めるよう、メモづくりや練習を支援する。おみつさんが自分で作ったわらぐつのよさを本文から具体的に読み取れるよう、P.23.L 10 ~ P.27を読むことを伝える。 テーマに合ったスピーチその のメモ作りができるように、教材本文の叙述に着目し、内容を理解する時間を取るようにする。 全員が内容を正しく理解できるよう、机間指導を行い、児童の考えのいくつかをフラッシュカードで全体に示す。 よりよいメモを作成できるよう、効果的な間の取り方など、メモの生かし方の観点到に着目するように声かけをする。 【雪げたが、たなの上にあることについて】 ・おじいちゃんに買われたこと。 ・おみつさんがとてもうれしがってなかなかはいってくれなかった。 ・おみつさんが、そのうちにはこうと思っているうちに年をとって、はかなくなってしまう。</p>	<p>【関・意・態】 《スピーチその》 前時の学びを取り入れるとともに、結論の内容や位置を工夫し、自分のスピーチがより分かりやすいものとなるように注意し、次のスピーチへの改善点を探している。 (活動の様子の観察及びメモ作成用紙、ふりかえりカード の記述の分析)</p> <p>【話・聞】 《スピーチその》 スピーチ名人カードのめあてを基に話したり、聞いたりでできたかを振り返り、次のスピーチへの改善点に気付いている。 (活動の様子の観察及びメモ作成用紙、ふりかえりカードその の記述の分析)</p>
(1)スピーチその のメモを作る。		10	<p>話すことへの抵抗を緩和し、時間の効率化を図れるよう、スピーチ練習発表及び本番発表は、グループごとに行う。自分が納得のいくまで、何度も練習してよいことを伝える。 その際、互いのスピーチの変化が見取れるよう、グループの構成員は、スピーチその と同じ構成員で行う。</p>

<p>(3) スピーチそのの本番発表を行い、互いのスピーチについての相互評価及び、自分のスピーチについての自己評価を行う。</p>	<p>20</p> <p>分かりやすいスピーチの観点が身に付いたかどうかを確かめることができるよう、スピーチを聞き合い、評価し合う活動を支援する。スピーチ後、相互評価を効果的に行えるよう、付せん紙を活用する。効果的な自己評価になるよう、「スピーチ名人カード」を活用する。個々の課題が明確になるよう、「スピーチ名人カード」を確認するように助言を行う。スピーチの評価を効果的に行えるよう、児童が聞き合う活動において、教師も積極的に認め励ます。机間指導の際に、「メモの書き方の工夫、話し方の工夫」の中から一つでも改善点が見つけれられていたら、積極的に認め、励ます。前時のスピーチと比べて進歩してきた点をメモの書き方や話し方から、具体的に提示する。グループでのアドバイス後に、今回のめあて「結論の内容や位置」を次のスピーチに生かせるよう、今回行ったスピーチの中身に関連づけて、具体的な助言をする。適切な言葉遣いの手がかりとなるよう、友達の考えたキーワードを黒板に例示する。自分の声の大きさや速さの適切さを直せるよう、録音機器などを活用するように助言する。よりよいスピーチとなるよう、スピーチ で不十分だった観定のすべてを取り入れているか問いかける。</p>	<p>【言】</p> <p>《スピーチその》</p> <p>スピーチ名人カードのめあてを基に話すことに着目して振り返っている。</p> <p>(活動の様子を観察及びメモ作成用紙、ふりかえりカードそのの記述の分析)</p>
---	--	--

第5時(スピーチその ~ までを振り返り、自他のスピーチの変化を自覚し、さらに分かりやすいスピーチにしようと思意欲を高め、最後のなりきりスピーチ のメモ作りを行う見通し3の前半である。太線枠内が検証に関係する部分。授業のビデオ録画を基にした考察等の方法を使っても検証を行う。)

- (1) ねらい

これまでのスピーチその ~ を振り返り、自他のスピーチの変化に気付き、さらに分かりやすいスピーチにしようと思意欲を高めている。

なりきりスピーチその ~ の振り返りで気付いた自分のスピーチの進歩を基に、スピーチ学習の集大成である、なりきりスピーチ のめあてを決め、メモを作成する。
- (2) 準備

(教師) 付せん紙、これまでに作成したメモのコピーをを張った模造紙、スピーチ名人カード(児童用・掲示用)、学習目標 を書いた掲示物、メモ作成用紙(児童用・掲示用)、なりきりスピーチその のテーマを書いた掲示物、児童の考えを書くための画用紙短冊(掲示用)

(児童) 教科書、筆記用具、赤鉛筆、

(3) 展開(5/6) (於) 体育館

学習活動	分	学習への支援()及び留意点() 十分満足とする状況・態度の児童への支援()	評価項目(評価方法)
<p>今までしてきたスピーチその ~ を振り返り、自分や友達のスピーチの進歩を見つける。</p>		<p>互いの表現力の高まりを自覚し、自己肯定感を持つことができるよう、スピーチ ~ のメモと「スピーチ名人カード」が一目で見られるよう、一枚の紙に張る。</p>	
<p>(1) 自分のスピーチの進歩を見つける。</p>		<p>最初に、自分のスピーチの進歩を明らかにできるよう、メモの書き方や生かし方の変化をメモや「スピーチ名人カード」をよく見比べて付せん紙に記入し、所定の場所に張る。</p>	
<p>(2) 同じグループの友達の進歩を互いに見つけ合う。</p>		<p>次に、友達の進歩に気付けるよう、同じグループの友達のメモの書き方や生かし方の変化をメモや「スピーチ名人カード」をよく見比べて付せん紙に記入し、所定の場所に張る。</p>	

<p>(3) 他のグループの友達の進歩を互いに見つけ合う。</p> <p>(4) 自分で気付いたり、友達から教えてもらった自分のスピーチの進歩を基に最後のスピーチへのめあてを決める。</p>	<p>25</p> <p>より多くのスピーチの変化や進歩が自覚できるよう、他グループの友達のスピーチの進歩をメモや「スピーチ名人カード」をよく見比べて付せん紙に記入し、所定の場所に張る。 効果的な振り返りとなるよう、メモの変化から見つけたどんな小さな進歩でも書くように呼びかける。</p> <p>最後のスピーチへのめあてを自覚できるよう、スピーチメモの書き方と生かし方、それぞれ一つずつ、重点とするめあてを決め、「スピーチ名人カード」のめあて番号に赤鉛筆で丸をつける。 成長をメモや「スピーチ名人カード」の変化から具体的に提示して、これまでの成果や努力をほめる。 今までのスピーチで取り入れてきた表現の工夫をこれまでのメモをもとに具体的に思い出し、「スピーチ名人カード」に記されている表現の工夫のうち、まだ一度もスピーチに生かすことができていないものをめあてとするように呼びかける。 これまでのスピーチを振り返り、相手を見ること、声の大きさや速さ、間をあけること、身ぶりや手ぶりを入れることの中から目標を絞るように声かけをする。 最後のスピーチのめあては、これまでに身に付けたメモの書き方や生かし方を総合的に取り入れたものとすることを伝える。</p>	
<p>メモを作成してなりきりスピーチそのを行い、グループで互いに聞き合い、振り返る。</p> <p>(1) スピーチそののメモを作る。</p>	<p>15</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(なりきりスピーチその) 《おみつさん、おれのおよめさんになってくれないかな。》 大工さんになって、およめさんに来てほしいと、おみつさんに話したスピーチを振り返ろう。</p> </div> <p>なりきりスピーチそのへのめあてが持てるよう、「スピーチ名人カード」の工夫を総合的に取り入れてスピーチをすることをめあてとすることを確認する。 その際、「スピーチ名人カード」を黒板に掲示する。 大工さんがおみつさんにおよめさんに来てほしい思いを本文から具体的に読み取れるよう、P.20.L 6 ~ P.23.L 9を読むことを伝える。 テーマに合ったスピーチそののメモ作りができるように、教材本文の叙述に着目し、内容を理解する時間を取るようにする。 メモができたら、もう一つ別のメモを作成してもよいことを声かけする。</p>	<p>【関・意・態】 《スピーチそののメモ》 これまでの学びを総合的に生かし、テーマに関連する叙述に即してメモを作成しようとしている。 (活動の様子の観察及びメモ作成用紙の記述の分析)</p> <p>【言】 《スピーチそののメモ》 これまでの学びを総合的に生かし、テーマに関連する叙述に即してメモを作成している。 (児童が使用したメモ作成用紙記述の分析)</p>

第6時(スピーチ学習の集大成であるなりきりスピーチそのを行う見通し3にかかわる授業の後半である。太線枠内が検証に関係する部分。授業のビデオ録画を基にした考察等の方法を使っても検証を行う。)

- (1) ねらい
なりきりスピーチそのを行い、それを自他で振り返ることにより、自分のスピーチの向上を自覚するとともに、スピーチへの自信を深め、学習全体のまとめをする。
- (2) 準備
(教師) 付せん紙、スピーチ名人カード(児童用・掲示用)、学習目標を書いた掲示物、

メモ作成用紙（児童用・掲示用）、なりきりスピーチそののテーマを書いた掲示物、フラッシュカード（掲示用）、スピーチ台、机、お面（大工）、ワッペン（「大工」の文字と絵の２種類）、カセットテープレコーダー 9 台（児童）教科書、筆記用具、赤鉛筆、

(3) 展開（6 / 6）

（於）第二音楽室

学習活動	分	学習への支援（ ）及び留意点（ ） 十分満足とする状況・態度の児童への支援（ ）	評価項目（評価方法）
<p>メモを作成してなりきりスピーチそののを行い、グループで互いに聞き合い、振り返る。</p> <p>(1) スピーチそののメモを完成させる。</p>	15	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">（なりきりスピーチそのの） 《おみつさん、おれのおよめさんになってくれないかな。》 大工さんになって、およめさんに来てほしいと、おみつさんに話したスピーチを振り返ろう。</p> <p>前時に考えたなりきりスピーチそのへのめあてをもう一度見直し、「スピーチ名人カード」の工夫を総合的に取り入れてスピーチをすることをめあてとすることを確認する。 その際、「スピーチ名人カード」を黒板に掲示する。 大工さんがおみつさんにおよめさんに来てほしい思いを明確に見つけられるよう、前時に本文 P.20.L 6 ~ P.23.L 9 の範囲から探したことを確認する。 テーマに合ったスピーチそののメモ作りができるように、教材本文の叙述に着目し、内容を理解する時間を取るようにする。 全員が内容を正しく理解できるよう、机間指導を行い、児童の考えのいくつかをフラッシュカードで全体に示す。 よりよいメモとなるよう、何度も作り直してよいことを伝える。 【大工さんのおみつさんにおよめさんに来てほしいという思いについて】 ・おみつさんの作ったわらぐつ じょうぶでいいわらぐつ 見かけは不格好でも、使う人の身になって、 使いやすい、 じょうぶで長持ちする ・大工さんの強い思い 神様みたいに大事にするつもり</p>	<p>【関・意・態】 《スピーチそののメモ》 これまでの学びを総合的に生かし、自分のスピーチがより分かりやすいものとなるように注意し、スピーチへの改善点を探している。 （活動の様子の観察及びメモ作成用紙、ふりかえりカードの記述の分析）</p> <p>【話・聞】 《スピーチそのの》 スピーチ名人カードのめあてを基に話したり、聞いたりできたかを振り返り、スピーチへの改善点に気付いている。 （活動の様子の観察及びメモ作成用紙、ふりかえりカードそのの記述の分析）</p>
<p>(2) スピーチそのの練習を行う。</p>	10	<p>自分なりに一番よいと思えるスピーチができるよう、練習時間を確保したり、メモの書き方や生かし方を具体的に助言したりしていくことで支援を行う。 話すことへの抵抗を緩和し、時間の効率化を図れるよう、スピーチ練習発表及び本番発表は、グループごとに行う。 その際、互いのスピーチの変化が見取れるよう、グループの構成員は、スピーチそのと同じ構成員で行う。 めあてを重点化し、聞き手にもそれを伝えるようにする。</p>	<p>【言】 《スピーチそのの》 スピーチ名人カードのめあてを基に話すことに着目して振り返っている。 （活動の様子の観察及びメモ作成用紙、ふりかえりカードそのの記述の分析）</p>
<p>(3) スピーチそのの本番発表を行い、互いのスピーチについての相互評価及び、自分のスピーチについての自己評価を行う。</p>		<p>スピーチ後、相互評価を効果的に行えるよう、付せん紙を活用する。 効果的な自己評価になるよう、「スピーチ名人カード」を活用する。 机間指導の際に、「メモの書き方の工夫、話し方の工夫」の中から一つでも改善点が見つけられていたら、積極的に認め、励ますとともに、これまでの学習を踏まえてのその子なりの上達ぶりを賞賛する。 前時のスピーチと比べて進歩してきた点をメモの書き方や話し方から、具体的に提示する。 分かりやすいスピーチの観点に気付くよう、児童の取組の様子を見取り、個の状況に応じて聞き役となったり、</p>	<p>（活動の様子の観察及びメモ作成用紙、ふりかえりカードそのの記述の分析）</p>

<p>今回のスピーチ学習を振り返り、スピーチへの自信を深める。</p>	<p>20</p>	<p>助言を行ったりする。 グループでのアドバイス後に、自分なりに重点的に取り組むめあてのうち、一つでもスピーチに生かせることができたら、具体的に賞賛する。 自分のスピーチを客観的に見直せるよう、ビデオなどの機器も活用するように助言する。 自分のメモの工夫に役立てるよう、友達の工夫例を黒板に提示する。 適切な言葉遣いに注意して話せるよう、個の状況に応じて、「どこで、どのように間を取るのか」等、具体的に助言する。 「スピーチ名人カード」を基に、これまでのスピーチで上達してきた点を具体的に指摘し、賞賛する。 最後のスピーチが効果的に行えるよう、これまでに身に付けたメモの書き方や生かし方を総合的に取り入れるように声かけをする。</p> <p>話すことへの自信を深めるよう、児童の上達ぶりを賞賛するとともに、国語として、考えを整理したり、相手に伝えたりする力が身に付いてきていることを話す。</p>
-------------------------------------	-----------	---

『わらべつの中の神様』

言葉プリント

() 月 () 日 () 五年 組 番 ・ 名前

言葉の意味を調べよう！

← 意味を知っていたものには、をつけましょつ。

今日、初めて意味を知ったものには、をつけましょつ。

語句	P・L	意味
しんしんと	4・7	(深々と)雪がしずかにふりつづくよつす。
迷信	8・5	りくつに合わないあやまった言い伝えを信じること。
正真正正めい	8・6	ほんとうのこと。うそいつわりのないこと。ほんもの。
気立て	9・9	気持ち。性質。
つま皮	10・10	雨やどろをよけるために、げたのつま先に付けるおおい。
ふっさり	10・10	ふさふさしている様子を表す言葉。
言葉をにじらす	13・8	はつきりと言わない。
なだめ役	13・12	きげんをとる係り
がんぎ	16・6	雪の深い地方で、のきのひさしを長く出し、その下を通路にするために使われている木の屋根のこと。
あけすけ	17・3	物事をつつみかくさないこと。
むしろ	18・1	いぐさ、がま、わら、竹などで編んだ敷き物。
まじまじと	18・5	じつと見つめるよつす。
きょうじゆく	21・21	ありがたく思うこと。おそれいること。
よしめし	22・3	よいこととわるいこと。よいわるい。善悪

学習プリント

（ ）月（ ）日（ ）五年 組 番・名前

「わらぐつの中の神様」のおおまかな中身をつかもう！

作品の中の時	場 面	登場人物	おもなできごと
	（ ）の話	・おみつの（ ） ・おみつの（ ） お父さん（ ） お母さん（ ） おかみさん（ ） 村の人たち（ ） さん（ ）	・おみつさんが自分の 知るマサエ（ ）だと （ ）を見るマ サエ（ ） （ ）がかほしくな ったおみつ ・自分で作った（ ） を売るおみつ ・わらぐつを買ってくれた、 （ ）さん （ ）が、おみつさ んにプロポーズ
	（ ）の（ ）		
現 在	マサエの（ ）	・マサエの（ ） ・マサエの（ ） ・マサエの（ ） ・マサエの（ ）	マサエ いくことをすすめられる （ ）をはいて （ ）がかわかず、 マサエ

学習プリント

() 月 () 日 () 五年 組 番 ・ 名前

わかりやすいスピーチは、どこがちがうのかな？ 見つけよう。
ビデオから気づいたこと

メモから気づいたこと

《スピーチ名人カード》

これができればスピーチ名人だ！！

5年 組 番・名前

番号	書き方の工夫	新しく気づいたこと
1	大切な所だけ(キーワード)で書く	
2	はじめとおわりに一番言いたいこと	
	話し方の工夫	新しく気づいたこと
3	相手を見る	
4	声の速さ・大きさ	
5	あいだ(間)	
6	動作(身ぶり)・手ぶり	

なりきりスピーチその のメモ (スピーチ) 同形式)

(月 日) 五年 組 番・名前

【テーマ】お父さん、お母さん、雪げたを買ってよ!

《おみっさんになって、雪げたを買ってもらおうと、両親に話すスピーチ》

はじめ	なか	おわり

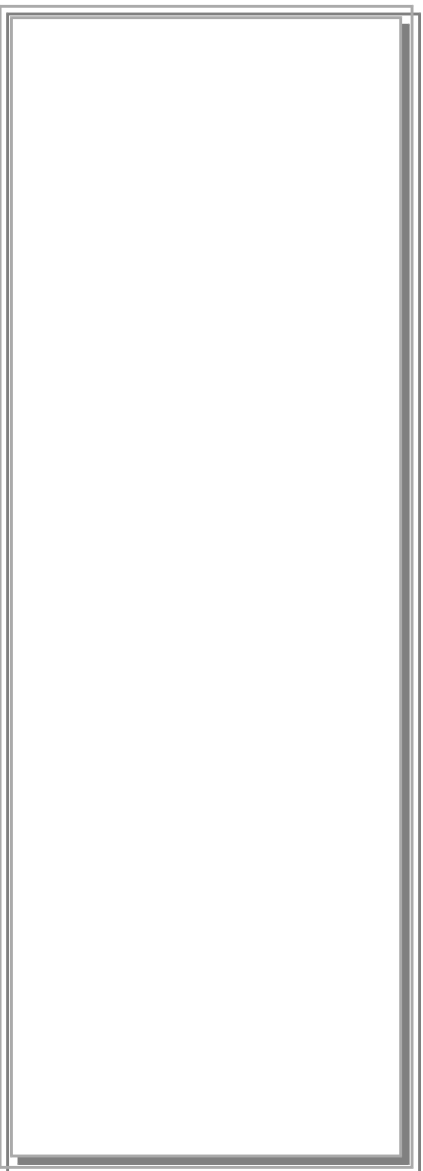
ふりかえりカード

（ 月 日 ） 五年 組 番 ・ 名前

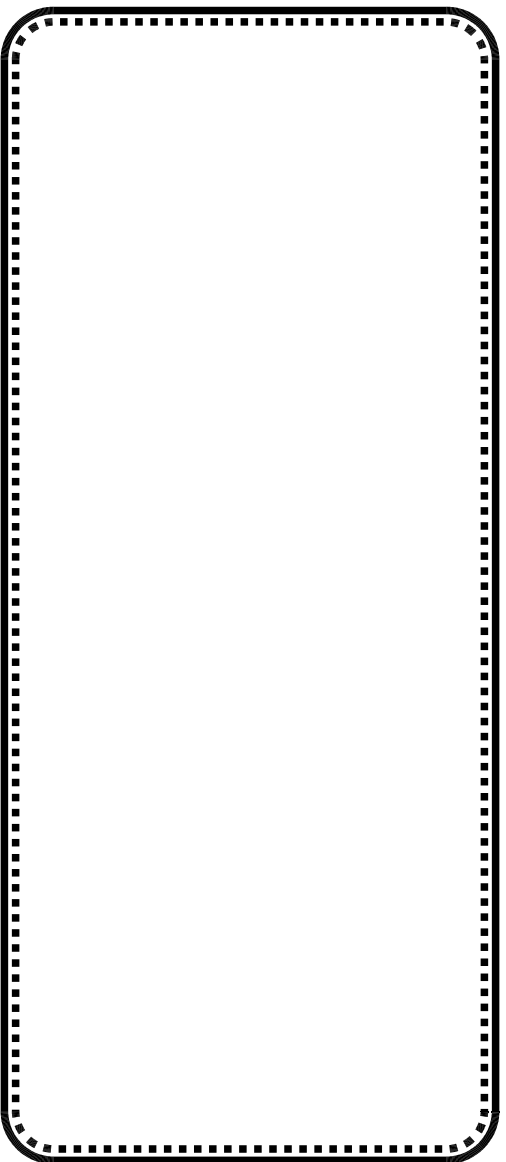
なりきりスピーチ をして、「話してよかった」と思えましたか。
どちらかに をつけて。わけを書いてください。

- ・ 話してよかったと思えた
- ・ 話してよかったと思えなかった

【わけ】



なりきりスピーチ をして思ったことを書こう！



ふりかえりカード

五年組 番・名前

1 ()月()日
なりきりスピーチその をして思ったことを書こう！

2 ()月()日
なりきりスピーチその をして思ったことを書こう！

3 ()月()日
なりきりスピーチその をして、「話してよかった」と思えましたが、
どちらかに をつけて、 わけを書いてください。

- ・話してよかったと思えた
- ・話してよかったと思えなかった

「わけ」

なりきりスピーチその をして思ったことを書こう！

「魚を育てる森」

【指導計画(全5時間)】

過程	主な学習活動	時間	学習への支援	評価規準		
				国語への 関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	言語についての 知識・理解・技能
	<p>改まった場面での話し方を振り返る。</p> <p>本文を読んで各自でスピーチのテーマを考える。</p> <p>各自で考えたスピーチのテーマを発表し、検討する。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> 二つのロールプレイングを見る活動を通して、改まった場面で話すことの難しさや必要性に気付くことができるよう支援を行う。 一人一人の生徒が、スピーチのテーマを自分なりに考えることができるよう、本文中にでてくる「もの」や「ひと」を確認したり、テーマを例示したりして支援を行う。 スピーチ可能なテーマかどうかを検討するため、各自が考えたテーマをグループで発表したり、本文の情報を確かめたりする活動を支援する。 	<p>スピーチのテーマを自分なりに考え、ノートに書いたり、発表したりしている。</p> <p>(十分満足とする状況・態度) ・相手や目的を様々な設定し、3つ以上のテーマを記述している。</p> <p>(努力を要する状況)への方策 ・一つでもノートに書き出せたことを、賞賛したり励ましたりして他の生徒へ広げ、活動の意欲化を図る。</p>	<p>目的や相手を明確にしてスピーチのテーマを発表している。</p> <p>(十分満足とするキーワード) ・根拠を明確にして</p> <p>(努力を要する状況)への方策 ・テーマが具体的に思いつかない生徒に対しては幾つかのスピーチのテーマを具体的に例示して手がかりとなるようにする。 ・本文中の「もの」や「人」を確認して、その立場ならばどんな内容でスピーチができるかを考えるよう助言を行う。</p>	<p>場の状況に応じた適切な音量や速さで話している。</p> <p>(十分満足とするキーワード) ・聞き手の分かりやすさに配慮した音量や速度、言葉の調子で</p> <p>(努力を要する状況)への方策 ・話し手に対しては、発表内容に自信をもつことができるよう励ますとともに、受容的な聞き方ができるよう、聞き手にも助言を行う。</p>
	<p>「魚が腐植土の大切さを人間に訴えるスピーチ」(スピーチ)を構想する。</p> <p>スピーチを聞き合う。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> スピーチの内容を構想するため、話す目的や相手を明らかにしたり、内容に盛り込む必要のある情報を確認したりして支援を行う。 自分なりにスピーチメモを作成することができるよう、必要な情報を収集したり、収集した情報を生かしてメモを作成したりする活動を支援する。 作成したメモを基に、自分なりにスピーチをすることができるよう、グループでの聞き合いを支援する。 	<p>腐植土の大切さを、書いたメモをもとにしてスピーチしている。</p> <p>(十分満足とする状況・態度) ・聞き手の分かりやすさを考えながら自分なりにメモの書き方や話し方を工夫して話している。</p> <p>(努力を要する状況)への方策 ・一人一人が自分なりにがんばってスピーチをする姿勢を、認め励ましていくことで、活動の意欲化を図る。 ・メモづくりの際の支援を十分に行い、一人一人の生徒が話す内容をもつことができるようにする。</p>	<p>腐植土が大切なわけメモにまとめ、自分なりにスピーチしている。</p> <p>(十分満足とするキーワード) ・聞き手を意識しながら、メモの書き方や生かし方を工夫して</p> <p>(努力を要する状況)への方策 ・キーワードが見つからない生徒に対しては、板書中の言葉を手掛かりにするように助言する。 ・キーワードが一つの話にまとまらない生徒に対しては、スピーチを例示し、自らの話をまとめていく手がかりとなるようにする。</p>	<p>声の速度や大きさに注意して話している。</p> <p>(十分満足とするキーワード) ・聞き手が分かりやすいように、声の速度や大きさ、間や抑揚などに注意して</p> <p>(努力を要する状況)への方策 ・聞き手からの助言をもとに、自分の声の大きさや速さを調節するようにアドバイスをする。 ・見取った個の状況に応じて、声の大きさや速さなど、具体的に助言を行う。</p>
見直し1	<p>スピーチとモデルスピーチを聞き比べ、メモを見比べて、分かりやすいスピーチをするための観点を記述する。気付いた理由を発表し合う。</p> <p>分かりやすいスピーチをするための観点を、整理する。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> 分かりやすいスピーチをするための観点到るに気付くことができるよう、二つの対照的なスピーチ(モデルスピーチ)を聞き比べたり、メモを見比べて行う活動を行う支援する。 <p>・気付いた観点を、「分かりやすいスピーチをするための技一覧」として、スピーチ上達シートに整理する。</p>	<p>モデルスピーチが分かりやすい理由を、自分なりに記述したり発表したりしている。</p> <p>(十分満足とする状況・態度) ・メモの書き方や生かし方の多様な観点から記述したり、発表したりしている。</p> <p>(努力を要する状況)への方策 ・一つでも気付いたことを他の生徒に広め、活動の意欲化を図る。 ・発表の際には意図的指名を取り入れ、一人一人の気付きを全体の学習に生かしていくことで、達成感をもつことができるようにする。</p>	<p>分かりやすいスピーチをするためのメモの書き方や生かし方を、具体的に記述している。</p> <p>(十分満足とするキーワード) ・メモの書き方と生かし方を関連づけて</p> <p>(努力を要する状況)への方策 ・「どちらのスピーチが、なぜ分かりやすいのか」という課題を、常に明確にして、聞き比べたり見比べたりする活動を行う。</p>	<p>声の速度や大きさ、間の取り方や言葉の調子の違いから、分かりやすい理由を記述している。</p> <p>(十分満足とするキーワード) ・分かりやすさと声の大きさや速度、間や抑揚とを関連づけて</p> <p>(努力を要する状況)への方策 ・分かりやすい理由を考える際に、声の大きさや速さなど具体的な観点を助言して、違いに気付くことができるようにする。</p>
見直し2	<p>「腐植土が自らの大切さを訴える内容のスピーチ(スピーチ)を構想する。</p> <p>メモをもとにスピーチを聞き合う。聞き手からの評価を、自らスピーチの改善策を考える。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> キーワードで書いたメモを基に、聞き手を見ながらスピーチできるよう、目的や相手を確認したり、練習の際にアドバイスをしたりする。 達成感をもつことが出来るよう、「よくできた」と判断した観点については、スピーチ上達シートの項目を消す活動を行う。 			

	<p>「筆者が魚を増やすための方法を説明する内容のスピーチ（スピーチ）のメモを作成する。</p> <p>メモを基にスピーチを聞き合い、聞き手からの評価を基に、自らのスピーチの改善点を考える。</p>	<p>・構成や話し方を工夫した分かりやすいスピーチができるよう、目的や相手を確認したり、練習の際にアドバイスをしたりする。</p> <p>・達成感をもつことが出来るよう、「よくできた」と判断した観点については、スピーチ上達シートの項目を消す活動を行う。</p> <p>・自らのスピーチの課題や改善の手がかりをつかむことができるよう、「よくできていた観点」を教え合う活動や互いのメモを見比べる活動を行って支援する。</p>	<p>魚を増やすための方法を聞き手に分かってもらえるよう、結論の位置や話し方を工夫して聞き手に分かりやすく話そうとしている。</p> <p>(十分満足とする状況・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の観点もたくさん取り入れている。 ・聞き手への分かりやすさを考えながら、何度も練習したり、メモを修正したりして ・気付いた工夫を、主体的に取り入れている <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ上達シートやメモに表れた個々の進歩を他の生徒に広げ、活動の意欲化を図る。 ・次時にベストスピーチを発表し合うことを予告し、活動の意欲化を図る。 ・一度のスピーチで達成できなくてもよいことや、次回も挑戦できることを説明する。 	<p>魚を増やすための方法を聞き手に分かってもらえるよう、結論の位置を工夫したり、話し方を工夫したりして話している。</p> <p>(十分満足とするキーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の観点も、効果的に取り入れて ・聞き手に対して最も効果的なメモの構成や生かし方を工夫して <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の生徒のメモを例示し、聞き手に分かるように話すためのメモの書き方の工夫に気付くようにする。 ・聞き手の分かりやすさを考えた構成が工夫できない場合には、構成モデルを例示し、結論の位置による聞き手の分かりやすさの違いを確認する。 	<p>話す速度や音量、間の取り方や言葉の調子を考えて話したり、聞いたりしている。</p> <p>(十分満足とするキーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手の分かりやすさを考えた間の工夫や言葉の調子で <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「間や強弱の工夫」が「よくできた」生徒のスピーチを基に、間の位置や間隔、強調する部分などに具体的に気付くようにする。 ・具体的な間の取り方や言葉の調子を参考として例示する。 ・自分の声の大きさや速さを見直すことができるよう、録音機器を活用する。
見直し3	<p>台紙にはったスピーチメモ～とスピーチ上達シートをもとに、自分や友達のスピーチの上達ぶりを認め合う。</p> <p>第1時に出し合ったテーマから自らのテーマを選び、スピーチを構想する。作成したメモを基に練習する。</p> <p>スピーチを聞き合う。</p> <p>スピーチを自己評価したり、相互評価したりする。</p>	<p>・互いに分かりやすいスピーチをするための観点が身に付いてきたことに気付き合えるよう、スピーチメモ～の書き方や生かし方の変化を見合う活動を行って支援する。</p> <p>・できるだけ多くの観点が「できた」といえるスピーチができるよう、各自のメモの作成や練習を支援する。</p> <p>1</p> <p>・互いに「話してよかった」と思えるスピーチになるよう、互いのスピーチを聞き合う活動を支援する。</p> <p>・学習に成就感をもつことができるよう、互いのスピーチの上達ぶりを教え合っ ていくようにする。</p>	<p>自分のスピーチをより分かりやすくするためにメモの書き方や生かし方を工夫している。</p> <p>(十分満足とする状況・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し練習をしている。 ・ビデオなどで工夫の効果を何度も確かめている。 ・メモを何度も修正している。 <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ上達シートやメモに表れた進歩を、他の生徒に広げ、活動の意欲化を図る。 ・スピーチ、の取組の様子や表現力の向上を具体的に認め励ますことで活動の意欲化を図る。 	<p>キーワードで書いたメモを基に、構成や間、抑揚を工夫したスピーチをしている。</p> <p>(十分満足とするキーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすいスピーチをするための観点を六つ以上、効果的に取り入れて <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチの内容が具体化できない生徒に対しては、スピーチの目的や相手が明確になるように助言を行う。 ・生徒の取組の様子を見取り、教師も聞き役となって助言を行う。 ・練習の際に聞き手の生徒は、さらに分かりやすく話すためのアドバイスをするように助言する。 ・ビデオ機器を活用し、自分のスピーチをさらに分かりやすくするための改善点に気付くようにする。 	<p>話す速度や音量や間、言葉の調子に注意して、話したり、聞いたりしている。</p> <p>(十分満足とするキーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手に聞きやすい音量や速さで ・効果的な間の取り方で ・話の目的や相手、場に応じた言葉の調子で <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個の状況に応じて、「どこで、どのように間を取るのか」等、具体的に助言していく。 ・自分の声の大きさや速さを見直すことができるよう、録音機器などを活用する。

【本時案】

第1時

- (1) ねらい
本文から収集した情報を基に、なりきりスピーチのテーマを考えることができる。
- (2) 準備
「魚を育てる森・難語句プリント」、短冊、マジック
- (3) 展開（5時間中の1時間目）

学習活動	時	学習への支援（ ）及び留意点（ ） 十分満足とする状況・態度の生徒に対する支援（ ）	評価項目（評価方法）
改まった場面で話すことの難しさを振り返る。	10分	改まった場面で話すことの難しさを振り返る。この活動を通して、話し手が聞き手に配慮しているか、聞き手の立場から助言をするか、などについて話し合えるようにする。	
『魚を育てる森』でスピーチの名人を目指そう！			
本文を読んで各人各自のスピーチのテーマを考える。	35分	自分なりにスピーチのテーマを考えることができるように、「魚を育てる森・難語句プリント」を活用して本文を読み、概要をとらえる活動をする。自（何）に、どのテーマについて、だれ（何）が、だれ（何）に、どのように書くかを促す。生徒に対しては、本文から出てくる「人」や「もの」を確認して、その立場から助言する。内容をスピーチが可能なように助言する。設定することができるように、いくつかの例を示す。ノートに書き出させたことや、賞賛した励ましや、他の生徒へ広げ、活動の活性化を図る。「もの」の立場に立って、スピーチのテーマを多様に考えるよう助言を行う。	【関心・意欲・態度】 ・スピーチのテーマを自分なりに考え、ノートに書いたり、発表したりしている。 (活動及びノートの観察)
各自で考えたスピーチのテーマを、発表し合う。 (1) 各自の考えたテーマをグループ内で発表し、検討する。 (2) 各グループの検討結果を発表し合い、検討する。		生徒たちがスピーチのテーマを検討し、精選するグループ内で発表し、各自の考えたテーマの内容を確認し合う。スピーチのテーマをグループで検討していく場面では、本文の中にある助言や、励ますこと、聞き手に対して、受容的な聞き方をするよう促す。本文の内容を根拠に積極的に発言するよう促す。 スピーチのテーマを精選するため、各グループで検討したテーマの内容を発表し合い、本文に書かれている情報を確かめ合ったり、活動を行う。スピーチの目的や相手、スピーチが可能と判断した理由などについて各グループのテーマを発表するよう助言する。	【話すこと・聞くこと】 ・目的や相手を明確にして、スピーチのテーマを発表している。 【言語についての知識・理解・技能】 ・場の状況に応じた適切な音量や速さで話している。 (発言及びノートの記述内容の分析)
次時からの「なりきりスピーチ」のテーマについて確認する。	5分	生徒の考えたテーマの中から三つを選んで、スピーチのテーマとすること、残りのテーマは最後のスピーチで利用することを説明する。	

第2時

- (1) ねらい
集めた情報を基に、スピーチメモを書き、「なりきりスピーチ」をすることができる。
- (2) 準備
・フラッシュカード、スピーチメモ作成用紙、付せん紙、原稿用紙、
- (3) 展開（5時間中の2時間目）

学習活動	時	学習への支援（ ）及び留意点（ ） 十分満足とする状況・態度の生徒に対する支援（ ）	評価項目（評価方法）
前時の学習を振り返る。	↑	前時の板書事項を書いた模造紙を黒板に提示し、	

返る。 本時のめあてをつかむ。	5分 ↓ ↑	既習事項を説明する。	
魚になって、「なりきりスピーチPART」をしよう！			
スピーチメモを作成する。 (1)スピーチの相手、目的、内容を明確にする。 (2)スピーチに必要な情報を集め、メモをまとめる。	30分 ↓	<p style="text-align: center;">【テーマ】「魚たちは訴える！『腐植土を大切に』」</p> <p>スピーチの内容を具体化するため、テーマを確認して話す目的や相手を明らかにしたり、内容に盛り込む必要のある事柄を確認したりして支援を行う。</p> <p>スピーチの目的や相手、内容が明確になるように「腐植土を守ってほしい」と再確認する。人間に訴える「腐植土を守ってください」と述べるだけでは聞き手への説得力が乏しいことを確認し、「腐植土の役割やそれが大切な理由」を内容に盛り込む必要に気付くことができるようにする。</p> <p>自分なりにスピーチメモを作成することができるよう、必要な情報を収集したり、収集した情報を生かしてメモを作成したりする活動を支援する。</p> <p>「腐植土の役割」についての情報を得ることができない生徒に対しては、本文中で「役割」という単語が使われている箇所に着目するよう助言を行う。全員がメモを作成することができるよう、先生が読んで収集した情報を交流し合い、黒板に整理する。メモに盛り込む言葉が分からない生徒に対しては、板書中の言葉を一つの話にまとめられないでいる生徒に対しては教師が例示を行い、自らの話をまとめ手がかりとなるように行う。一人一人の生徒が話しやすいスピーチをするため、メモの書き方や話し方を自分なりに工夫するように促す。構想したスピーチが、目的や相手に合ったものかどうかを、もう一度メモで再確認することを促す。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 ・書いたメモを基にしてスピーチしている。 (活動の様子の観察) スピーチメモの分析)</p> <p>【話すこと・聞くこと】 ・腐植土が大切なわけを、自分なりにスピーチしている。 (活動の様子の観察) スピーチメモの分析)</p> <p>【言語についての知識・理解・技能】 ・話す速度や声の大きさに注意して話している。 (活動の様子の観察)</p>
作成したメモを基に、「なりきりスピーチ」を行う。	15分 ↓	<p>作成したメモを基に、自分なりにスピーチをするよう、発表やグループでの聞き合いを支援する。</p> <p>一人一人の生徒が、自分なりにがんばってスピーチの姿勢を認め励ましていくことで、活動の意欲を高める。自分の声の大きさや速さを調節する状況に応じて、声の大きさや速さなど、具体的に助言を行う。スピーチ終了後、さらに聞き手に分かりやすいスピーチにしていくには、自分のスピーチのどこをどのように改善していけばよいかを具体的に考えるよう助言を行う。</p>	

第3時

()の部分が見通し1にかかわる部分。また、授業後の質問やビデオ録画、録音などの方法を使っても検証を行う。))

- (1) ねらい
モデルスピーチを聞き比べ、メモを見比べる活動を通して、分かりやすいスピーチをするための七つの観点をとらえることができる。
- (2) 準備
・TV、ビデオデッキ、モデルスピーチ を収録したビデオテープ、スピーチ上達シート
モデルスピーチ のスピーチメモ、第2時の板書事項を書いた模造紙
「分かりやすいスピーチの秘密探しシート」
- (3) 展開(5時間中の3時間目)

学習活動	時	学習への支援()及び留意点() 十分満足とする状況・態度の生徒に対する支援()	評価項目(評価方法)

分かりやすいスピーチをするための秘密をさぐる。

ビデオを視聴して、モデルスピーチを聞き比べる。

10分

分かりやすいスピーチの話し方の観念に気付くことができるよう、モデルスピーチを聞き比べて気づいたことを発表したり、それを整理したりする活動を行って支援する。

<モデルスピーチの相違点>

	モデルスピーチ	モデルスピーチ
メモの書き方	文章で書いたメモを作成している。 終わりで結論を述べる構成(尾括式の構成)になっている。	A付せん紙に書いたキーワードでメモを作成している。 Iはじめと終わりで結論を述べる構成(双括式の構成)になっている。
メモの生かし方	繰り返しの部分はなし。 メモをそのまま読んでいる。 抑揚や間のない平板な話し方をしていて、やや小さめの声で話す。 身振りはない。	U大事なことを繰り返している。 E聞き手をなるべく見るようにして話している。 O抑揚や間を工夫した話し方をしていて、聞きやすい声量と速さで話す。 S身振りを交えている。

目的をもって視聴できるよう、「どちらが分かりやすいスピーチか」「なぜ分かりやすいのか」を考えながら聞くように指示する。

モデルスピーチが分かりやすい理由をワークシートに書き、発表する。

15分

気付いたことを「分かりやすいスピーチの秘密探しシート」に書き出している際には、机間指導を行って一人一人の気付きを賞賛し、それを他の生徒に広げること、活動の意欲化を図る。分かりやすい理由を考える際に、声の大きさや速度など具体的な観点を助言して、違いに気付くことができるようにする。さらに他の観点から「のスピーチの分かりやすさの原因」を考えるよう促す。

【関心・意欲・態度】
・自分なりに気付いた観点を記述したり、発表したりしている。
(活動の様子を観察、ワークシートの記述)

— <予想される生徒の反応> —

- ・ は聞き手を見ていないけれど、 は見ているから分かりやすい。
- ・ は話し方がだらだらしているけれど、 は大事な言葉を強調したり、間をとったりしているから分かりやすい。
- ・ は身振りを取り入れているから分かりやすい。
- ・ は大事な言葉を繰り返している。

【話すこと・聞くこと】
・ 分かりやすいスピーチをするための、メモの書き方や生かし方を記述している。
(ワークシートの記述)

モデルスピーチのメモから気付いた原因をワークシートに書き、発表する。

15分

分かりやすいスピーチをするためのメモの書き方の観念に気付くことができるよう、メモを見比べて気づいたことを発表したり、それを整理したりしていく活動を行って支援する。

【言語についての知識・理解・技能】
・ 声の速度や大きさ、間の取り方や言葉の調子の違いに気づいている。
(ワークシートの記述、授業中の発言)

まず、分かりやすいと思ったのメモは、とどのように違うのかに着目するように助言を行う。気付いたことを「分かりやすいスピーチの秘密探しシート」に書き出している場面では、生徒一人一人の気付きを賞賛し、それを他の生徒に広げること、活動への意欲を高める。成就感をもつことができるよう、発表の際に意図的指名を取り入れ、一人一人の気付きを全体の学習の中に生かしていく。キーワードでメモを書くことの利点や、結論の位置と聞き手の分かりやすさとの関係等、具体的に考えるように助言を行う。

— <予想される生徒の反応> —

- ・ の方がメモが見やすい。
- ・ は要点が短くまとめている。
- ・ は文章で書かれているから、聞き手を見て話すことができない。

分かりやすいスピーチをするための観点を整理する。

10分

「分かりやすいスピーチをするための技」として意識づけるために、生徒の見つけた観点を「メモの書き方にかかわるもの」と「書いたメモの生かし方にかかわるもの」とに分けて整理する活動を支援する。

第4時

(見通し2にかかわる授業。□の部分が特に検証にかかわる部分。また、授業後の質問やビデオ録画、録音等の方法を使っても検証を行う。)

- (1) ねらい
聞き手に分かってもらえるよう、構成や話し方を工夫しながら、「なりきりスピーチ」「なりきりスピーチ」を行うことができる。
- (2) 準備
第2時の板書事項を書いた模造紙、スピーチ上達シート(模造紙に書いたもの及びプリント)スピーチメモ作成用紙、付せん紙、モデルスピーチのスピーチメモ(配布済み)
- (3) 展開(5時間中の4時間目)

学習活動	時	学習への支援()及び留意点() 十分満足とする状況・態度の生徒に対する支援()	評価項目(評価方法)
前時の学習事項を確認する。本時のめあてを知る。	↑ 5分 ↓	本時の学習のめあてが意識づけられるよう、「なりきりスピーチ」で、分かりやすいスピーチをするための観点を身に付ける学習をしていくことを説明する。	
「なりきりスピーチPART」でキーワードで書いたメモを振り返ろう。			
なりきりスピーチを構想する。 なりきりスピーチを聞き合ひ、自分の改善点を考える。	↑ 20分 ↓	<div data-bbox="443 667 1206 723" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">【テーマ】腐植土の自慢話「私はこんなに大切なよ！」</div> <p>キーワードでメモを作成し、聞き手を見ながらスピーチできるように、話す目的や相手を確認したり、練習の際にアドバイスをしたりして支援を行う。</p> <p>メモで用いるキーワードが見つからない生徒に対しては、第2時の板書(黒板に提示しておく)の語句を手がかりとしてメモを作成するよう助言する。メモが一応完成できた生徒に対しては、ペアを組んで練習を行っているように指示する。</p> <p>生徒が自らのスピーチの課題や改善の手がかりをつかむことができるよう、「よくできていた観点」を教え合おう活動や、互いのメモを見比べたりする活動を行って支援する。</p> <p>話し手の生徒が達成感をもつことができるよう、「よくできた」と判断した観点については、スピーチ上達シートの項目を消していくように指示する。</p> <p>「できなかった」と判断した観点については、どうすればできるようになるのかを、周囲の生徒のメモの書き方やアドバイスから考え、自分のメモの改善につなげるよう助言する。</p> <p>一度のスピーチで達成できなくてもよいことや、次回も挑戦できることを説明する。</p> <p>「聞き手を見て話す」ためのメモの書き方に気付くことができるよう、「聞き手を見ながら話すことができる生徒」のメモと自分のメモを見比べ、自分のメモの書き方の改善に生かすように助言する。を示し、その書き方を参考にするように助言を行う。</p> <p>「結論が聞き手にはっきり分かる」メモの書き方ができるよう、構成モデルを用いて結論の位置と聞き手への分かりやすさとの関連性を確認して支援を行う。</p> <p>さらに分かりやすいスピーチにするため、他の観点も取り入れてメモの書き方や生かし方を改善するように促す。</p> <p>他の生徒のスピーチをより分かりやすいものにするために、積極的にアドバイスをしたりして助言する。</p>	
なりきりスピーチPART で、結論の位置を工夫したメモを振り返ろう			
なりきりスピーチを構想する。	↑ 25分	<div data-bbox="443 1753 1206 1809" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">【テーマ】「お答えします。魚はこうすれば増えます！」</div> <p>構成や話し方を工夫した分かりやすいスピーチができるよう、話す目的や相手を確認したり、練習の際にアドバイスをしたりして支援を行う。</p> <p>メモで用いるキーワードが見つからない生徒に対しては、第2時の板書(黒板に提示しておく)の語句を手がかりとしてメモを作成するよう助言する。</p> <p>メモの書き方に表れた個々の進歩を他の生徒に広め、活動の意欲化を図る。</p> <p>メモが一応完成できた生徒に対しては、ペアを組んで練習を行っているように指示する。</p>	

「聞き合おう！これが私のベスト・スピーチ」

「なりきりスピーチ」を構想する。

スピーチの自己課題が明確になるように、友達からもらった付せん紙に書かれている内容をもとにして、自分が身に付けた観点と未だ身に付けていない観点を明確にするよう助言を行う。

<テーマの例>

魚たちは訴える！「腐植土を大切に」
腐植土の自慢話「私はこちらに大切なものよ！」
お答えします。「魚はこうすれば増えます！」
気仙沼の漁民、Aさんは語る。
植林しましょう！Bさん！ など

できるだけ多くの観点が「できた」といえるスピーチができるよう、各自のメモの作成や練習を支援する。テーマを決める際には、生徒が主体的に選択できるように、第1時に生徒が考えたスピーチのテーマの一覧を示し、その中から選択できるようにする。

練習の際には、聞き手の生徒も「スピーチの相手の立場」になりきって聞くことや、さらに分かりやすいスピーチにするための具体的なアドバイスをするよう助言する。スピーチの内容が具体的に構想できるように、テーマを基に、話す目的や相手が明確になるように助言を行う。スピーチの改善点に気付くことができるよう、教師や生徒が聞き手となってアドバイスし合う。「間」を工夫したスピーチができるよう、個の状況に応じて、「どこで、どのように間を取るのか」等、具体的に助言していく。自分の声の大きさや速さを見直すことができるよう、録音機器を活用するようにアドバイスする。練習の際には、自分のスピーチをさらに分かりやすくするための改善点に気付くことができるよう、録音機器なども活用できるようにする。

「なりきりスピーチ」を聞き合う。

互いに「話してよかった」と思えるスピーチになるよう、互いのスピーチを聞き合う活動を支援する。スピーチを聞き合う際には、友達の上達した点や「うまくできた点」などに注意しながら聞くように指示する。

「なりきりスピーチ」を自己評価したり、相互評価したりする。

学習に成就感を持つことができるよう、互いのスピーチの上達ぶりを教え合っていくようにする。教え合う際には、「なりきりスピーチ」の時のメモの書き方や生かし方と比較して、各々の話す力の向上を認め合うよう助言する。

【関心・意欲・態度】

・自分のスピーチをより分かりやすくするためにメモの書き方や生かし方を工夫している。
(メモの記述の分析、活動の様子を観察)

【話すこと・聞くこと】

・キーワードで書いたメモを基に、構成や間、抑揚を工夫したスピーチをしている。
(スピーチメモの分析、活動の様子を観察)

【言語についての知識・理解・技能】

・話す速度や音量や間、言葉の調子に注意して話したり聞いたりしている。
(スピーチメモの分析、活動の様子を観察、相互評価や自己評価の分析)

20

分

15

分

魚を育てる森・難語句プリント

一年組 番・名前

この文章を読んでいくうえで、特に重要だと思われるものを、重要と思われるものを付けよう。

重要度	語句	意味
	岩礁	海の下にかくれていて見えない大きな岩
	〜と化する	〜に変化して別のものになる
	伐採	木を切り倒すこと
	沿岸	海ぞい
	解放	ときはなたれて自由になること
	再生する	一度だめになったものを、もう一度復活させること
	漁場	魚がたくさんいる場所
	着手	仕事や事業にとりかかること
	適量	ちょうどよい分量
	濁水	水がかれて、なくなってしまうこと
	変動	状態がいろいろと変わること
	要因	主な原因
	直接	間に何も入れず、直接に関係すること
	粒子状	小さなつぶの状態
	可能	実現できるというみこみ
	海域	ある限られた区域の海
	活着	植物が土に根付くこと
	回遊魚	群をつくって季節によって移動する魚のこと
	肝に銘じる	心にきざみつけて、わすれないようにする

モデルスピーチのメモ

モデルスピーチ①のメモ

にしてほしいと主張します。	このようになことから、私は、腐植土を大切に	い	魚が増える	増える	海藻を育てます。	やリン、ケイ素などが	役割もありません。	さら	ま	土砂に埋ま	土砂に埋もれて死んでしま	大きな影響を与えます。	砂が海に流れ出し、海底で生活する動物に	う役割もありません。	また、森の腐植土には海の生物を守るとい	サケなどの魚は生活できません。	水や湯水の原因になります。	腐植土がないとこの調整作用が失われ、洪	を地下水として流し続ける役割があります。	森の腐植土には、雨水を地中に保ち、適量
---------------	-----------------------	---	-------	-----	----------	------------	-----------	----	---	-------	--------------	-------------	---------------------	------------	---------------------	-----------------	---------------	---------------------	----------------------	---------------------

モデルスピーチ②のメモ

おわり	な	か	はじめ
腐植土を大切に！ このようになくてはならないもの	海の生物を育てる 窒素、リン、ケイ素 植物プランクトン 小魚 大形魚	海の生物を守る 大量の土砂 ウニ、アワメ、コナエビ	腐植土を大切に！ 三つの役割 適量の雨水を流す 湯水：サケX

分かりやすいスピーチの秘密探しシート

一年組 番名前

◎聞き手に分かりやすいスピーチをするための秘密をさがそう！
 *分かりやすいその原因は何だろうか。ビデオやスピーチメモを見て、気づいたところをメモしよう。

ビデオから	スピーチメモから
<p style="text-align: center;">.</p>	<p style="text-align: center;">.</p>

【「聞きやすい」「分かりやすい」の秘密を探そう！】

スピーチメモ作成用紙(なりきりスピーチ)

一年組 番・名前

スピーチのテーマ

はじめ	なか	おわり

【読み方】読みかたをよむためのメモの改訂版

スピーチ上達シート

1年 組 番・名前

「分かりやすいスピーチをするための技を整理しよう」

番号	メモの書き方の技	新たに気づいた発見やコツ
	メモの生かし方の技	新たに気づいた発見やコツ

*聞き手からの評価をもとに、「できた」と思ったら、ペンで横線を1本引こう。
 ペンの色はスピーチごとに変えよう。 <例 を する>